



令和5年1月15日 第865号

一般財団法人日本遺族会 千代田区千代田九段南一丁目六番五号 九段会館テラス四階 電話 03-3261-5521 00160-6-25389 振替 00160-6-25389 編集 盛川英治 発行 盛川英治 毎月1回15日発行 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

令和5年度政府予算決定

悲願 妻特給継続、増額へ

政府は12月23日の閣議で来年度政府予算を決定した。本会関係では、悲願であった「戦没者等の妻に対する特別給付金(妻特給)」の継続、増額が決まった。加えて、次世代育成の願いを込めた戦没者遺児による慰霊友好親善事業の付添者への補助、戦没者遺留品返還事業の増額等、例年に増して本会の要望が計上された予算となった。

令和5年度政府予算案は12月23日閣議決定され、一般会計総額は過去最大の114兆円となった。ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界的物価高への対応、不安定な

東アジア情勢等に対処するための防衛力の強化や高齢化に伴う社会補償費の増加などが影響し、一般会計の歳出総額は11年連続で最大を更新した。こうした極めて厳しい

財政状況の中、本会は12月7日、自民党内の遺族会応援団である遺家族議員協議会総会に正副会長、常務理事らが出席し、来年度予算に本会の要望が盛り込まれるよう陳情

した。その後、12月12日、第77回全国戦没者遺族大会を自民党ホールで開催し、来賓の国会議員に本会の要望事項実現を訴えた。大会終了後、参集した

各都道府県遺族代表は、党本部参議員会館などに赴き、地元選出の自民党国会議員に、本会の要望事項実現に対する理解と協力を求めた。全国の遺族代表が一堂となった陳情運動が実現し、本会の要望事項は概ね計上された。

中でも本会の最重要要望であった妻特給は、継続に加え増額も決まり、年22万円、5年償還の国債を5年毎に2回交付されることとなった。加えて、青年部育成を願う水落会長の肝いりの要望であった遺児慰霊友好親善事業参加者の付添者(青

犠牲となりました。その最大の懸案である組織の継承をより確実に行うため、来年度から戦後80年に向けた組織継承三カ年計画を実施いたします。活動の主軸は「平和の語り部」であり、戦争を体験した遺児たちの貴重な体験、悲痛な思いを、確実に次世代へ繋げ、活動を拡大、普及させるため、青年部世代の語り部の育成に力を注ぐ中で、遺児から青年部へ記憶の継承を図るものであります。

先の大戦では、祖国の安寧と家族の幸せを願い310万余の尊い生命が

新年のごあいさつ

日本遺族会会長 水落敏栄



ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。昨年は、新たな旅立ちの年となりました。

2月24日ロシアはウクライナ侵攻を開始しました。戦場と化した街を逃げ惑う子供たちの姿に77年前の自身を重ねた遺児は、憤り、奮い立ちました。本会は緊急に抗議声明を表明し、ウクライナ大使館に心ばかりの義援

金をお渡しいたしました。以降、遺族会の社会的意義を問い、課せられた責務に向き合い続けた一年となりました。

9月12日、天皇皇后陛下のご臨席を仰ぎ、日本遺族会創立75周年記念式典を参行いたしました。天皇陛下より本会の活動に敬意を表すとお言葉を賜り、過去に例のない遺族代表との懇談の機会をお持ちくださいました。

そして10月1日には、多くの関係者のご尽力を得て旧九段会館跡地に建設された九段会館テラスに本部事務所を移転いたしました。記念すべき年に、両陛下より賜りました御心を誇りとし、今日までいただいたご支援にお応えすべく、本会は戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝える社会的責務を果たす決意を新たにいたしました。

その上で、喫緊にして最大の懸案である組織の継承をより確実に行うため、来年度から戦後80年に向けた組織継承三カ年計画を実施いたします。活動の主軸は「平和の語り部」であり、戦争を体験した遺児たちの貴重な体験、悲痛な思いを、確実に次世代へ繋げ、活動を拡大、普及させるため、青年部世代の語り部の育成に力を注ぐ中で、遺児から青年部へ記憶の継承を図るものであります。

先の大戦では、祖国の安寧と家族の幸せを願い310万余の尊い生命が

犠牲となりました。その最大の懸案である組織の継承をより確実に行うため、来年度から戦後80年に向けた組織継承三カ年計画を実施いたします。活動の主軸は「平和の語り部」であり、戦争を体験した遺児たちの貴重な体験、悲痛な思いを、確実に次世代へ繋げ、活動を拡大、普及させるため、青年部世代の語り部の育成に力を注ぐ中で、遺児から青年部へ記憶の継承を図るものであります。

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間 12回 税金・送料込) お申込み

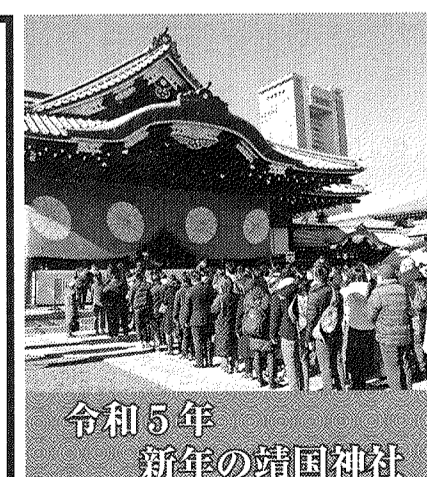
日本遺族会事務局 03-3261-5521

謹 哀悼

柴田義雄氏 日本遺族会理事。愛知県遺族連合会会長。令和4年12月13日、逝去された。86歳。葬儀は愛西市総合斎苑で行われ、喪主は長男勝彦氏。

高橋亮子氏 日本遺族会女性部・第一ブロック幹事。岩手県遺族連合会女性部長。令和5年1月2日、逝去された。79歳。葬儀は花巻市JA岩手花巻葬祭センターセレモニーホール黄泉苑で行われた。喪主は長男大志郎氏。

令和5年の年明け、仲間と酒を酌み交わしながら正月を迎えられた幸せをこらへど感じた年はなかつたように思う。昨年2月24日ロシアはウクライナ侵攻を開始した。先の大戦が終結以来、世界各地で紛争が続いてきたが、「戦争」状態に突入したのは、今回が初めてだろう。遺族の悲痛な心は察するに余りある。先人のためな努力による平和な社会に安住し、恩恵を当たり前と思っていた日本人に、改めて「平和」とは何かを突き付けた年となった。本会は戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝える社会的責務を次世代へ継承するため、来年度から大規模な組織継承策を実施する。今や戦後生まれが9割、遺族会に対する認知度は低下する一方、平和な社会が脅かされる今、遺族会の使命は高まっている。遺族会組織は、戦没者の親・兄弟から妻、そして遺児へとバトンを繋いできた。今後、戦争を知らない青年部が活動を継承することは、戦中戦後の記憶を持つ遺族の活動をしのぐ難しい取り組みとなる。本会事務局も今や遺族は一握り、大多数が遺族ではないが、活動の意義を理解し、必死に組織継承へ努力を重ねている。遺族会活動は戦争を知らない世代も共感できる普遍的なものである。大切な人の未来を守るため干支にのらない継承への飛躍をここに誓おう。(M)



令和5年 新年の靖国神社

謹賀新年

一般財団法人 日本遺族会

会長 水落敏栄
副会長 宇田川 劔雄
同 市来 健之助
他役職員一同

洗心懇談会(順不同)

東郷会 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
三笠保存会
中央乃木会
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
隊友連盟
日本郷友連
水交社
偕行社
靖国神社
英霊にこたえる会
日本遺族会

第77回全国遺族大会を開催

妻特給継続等処遇改善求め

日本遺族会は12月12日、自民党ホールにて第77回全国戦没者遺族大会を開催し、来年度政府予算に本会の要望事項が完全実現されるよう決議した。大会終了後、遺族代表は関係大臣、自民党幹部、国会議員らに陳情運動を行い、戦没者等の妻に対する特別給付金(妻特給)の継続等、本会の要望事項が盛り込まれるよう理解と協力を求めた。

大会は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、全国の遺族代表281人が参集し実施された。盛川英治事務局長の司会のもと、宇田川勲副会長の開会式で開幕した。

挨拶に立ち、ロシアのウクライナ侵攻により、遺族の社会的意義、責任の重さに向き合い続けた一年となったとあかし、そうした中で、昭和22年の結成から75周年を迎え、九段会館跡地に本部を移転できることへの謝意を伝えた。そして恒久平和を希求する活動を次世代へ継承するための組織継承計画を実行することを目指した。

続いて麻生太郎副総裁、松本剛明総務大臣、加藤勝信厚生労働大臣、尾辻秀久参議院議長、逢沢一郎遺族協議会会長、野村哲郎農林水産大臣らが祝辞を述べ、要望実現への協力を表明した。大会は、議長に選任された市來健之助副会長に



全国戦没者遺族大会で挨拶する水落会長(上)と加藤勝信厚生労働大臣(下) =12月12日、自由民主党会館で

よって進行され、全国初の青年部の支部長北浦基広兵庫県遺族会会長が意見発表し、大会宣言、決議案を安齋満、江田肇両常務理事が朗読し満場一致で採択された。次いで、國政隆昭常務理事の万歳三唱、山下裕子常務理事の閉会の辞で閉幕した。終了後、遺族代表は、地元選出自民党国会議員らに対し陳情した結果、悲願である妻特給の継続に加え、増額も計上され、来年度予算は例年にも増して本会の要望に沿うかたちで計上された。

令和5年度政府予算における戦没者遺族処遇改善項目

1. 遺族年金等(別表)
2. 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給
7億5400万円
支給対象件数 約85万人
3. 遺骨収集事業等の推進
33億2300万円
(1)遺骨収集事業
26億100万円
①硫黄島における遺骨収集事業
15億1200万円
②海外等における遺骨収集事業
9億3300万円
【実施地域】
・現地調査及び埋葬地調査(12地域) フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、ミャンマー、インド、トラック諸島、マレーシア、インドネシア、パラオ諸島、ギルバート諸島、樺太、沖縄、その他南方地域、旧ソ連地域
・遺骨収集(15地域) フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、ミャンマー、インド、トラック諸島、マレーシア、インドネシア、パラオ諸島、ギルバート諸島、樺太、沖縄、その他南方地域、旧ソ連地域
③法人運営経費
1億5600万円
④海外公文書館の資料収集
1700万円
⑤遺骨の鑑定
6億6700万円
4. 戦没者慰霊事業等
6億3200万円
(1)全国戦没者追悼式挙行経費
1億9700万円
(2)慰霊巡拝等
4億3500万円
①政府主催慰霊巡拝
1億400万円【慰霊

公務扶助料等年額一覧表

種類	令和5年4月より(月額)	対象遺族
公務扶助料	1,966,800(163,900)	軍人(少佐まで同額)
特例扶助料	1,573,500(131,125)	軍人(少将まで同額)
扶養加給	72,000	軍人
先順位遺族年金	1,966,800(163,900)	軍属、一部軍人
同遺族給与金	1,966,800(163,900)	準軍属
同特例遺族年金	1,573,500(131,120)	軍属・一部軍人
同特例遺族給与金	1,573,500(131,120)	準軍属
後順位遺族年金	72,000	軍属、一部軍人
同特例遺族給与金	56,400	準軍属
他に公扶受給 のがある年金	193,200	軍人
特設年金	456,400	軍人、軍属、準軍属
特例特設年金	335,000	同 上

(注) 上記の年額表は、日本遺族会事務局による試算で、多少異動することもあるので、ご了承下さい。

- ①手掛かり情報がない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定
2億4500万円
- ②戦没者遺骨の鑑定技術の研究・実用化検討
2億8000万円
- ③分析施設(ラボ)における鑑定実施
1億3600万円
- ④会議開催経費・事務費等
600万円
- ⑤遺骨・遺留品の伝達
3800万円(うち、戦没者遺留品の返還に伴う調査一式の経費1700万円)
- ⑥戦没者慰霊事業等
6億3200万円



遺族協議会総会で挨拶する水落会長 =12月7日、自由民主党会館で

遺家協議会開催

要望事項実現に向け協力を要請

自民党内の遺族会応援団である遺家協議会(遺家協)の総会が12月7日、自由民主党本部で開催された。

最初に、尾辻秀久前会長が参議院議長に就任し、会長を勇退されたことに伴い、役員改選が行われ、逢沢一郎衆議院議員が新会長に選出された。

同総会には、本会の水落敏栄会長はじめ副会長、常務理事らが出席し、令和5年度政府予算に対する戦没者遺族の処遇改善等に関する本会の要望事項を説明し、出席した自民党国会議員、総務省、厚生労働省の関係者に対し、要望事項の実現に向けて協力を要請した。

戦没者遺族の皆さまへ

第11回特別弔慰金の請求期限が近づいています
令和5年3月31日(金)までにご請求ください。

支給対象となる方

令和2年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族一人に特別弔慰金が支給されます。

■戦没者等の死亡当時のご遺族で

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。
※請求手続きの簡素化のため「同意書」が廃止されたので、同順位の方が複数いる場合は、話し合いのうえ、代表して請求する方を決めてください。

支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債

請求窓口

お住まいの市区町村の援護担当課

詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村の援護担当課にお問い合わせください。

ミャンマー小学校修繕募金のお礼

ミャンマー小学校修繕募金にご賛同いただいた方々に対し、心よりお礼申し上げます。

なお、都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合があります。日本遺族会の個人情報保護方針に基づき、ホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

心より感謝申し上げます。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針に基づき、ホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

集中期間延長を要望

自民党 遺骨帰還特命委員会で

戦没者遺骨帰還に関する特命委員会の役員会が12月15日自民党本部で開かれた。平成28年施行の「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律（遺骨収集推進法）」で定められた集中期間の終了が、令和6年に迫る中、同特命委員会に日本遺族会を代表して出席した水落敏栄会長は、戦後処理の総括である同法の意義と集中期間の延長等について強く要望した。

遺骨収集推進法は、半長に任命されたことに始世紀にわたり遺骨収集に。以来、遺骨の早期送還を推進する議員立法参議院議員が、戦没者遺族の積年の願いを訴え、遺骨収集を国の責務とす続けたことで、平成25年に自民党政調内に戦没者遺骨帰還に関する特命委員会（特命委員会）が設置され、水落会長が委員長に任命されたことに始まる。以来、遺骨の早期送還を推進する議員立法参議院議員が、戦没者遺族の積年の願いを訴え、遺骨収集を国の責務とする新役員紹介に次いで、厚生労働省より同法施行後の取り組みが説明された。コロナ禍の2年余り海外での事業がほぼ実施できなかったこと、遺骨の取り違え防止に鑑み、国内でのDNA鑑定に用いる遺骨の検体採取のための手順の改訂などが報告された。

特命委員会（委員長・福岡資麿参議院議員）役員会は、委員長をはじめとする新役員紹介に次いで、厚生労働省より同法施行後の取り組みが説明された。コロナ禍の2年余り海外での事業がほぼ実施できなかったこと、遺骨の取り違え防止に鑑み、国内でのDNA鑑定に用いる遺骨の検体採取のための手順の改訂などが報告された。

また米国野生動物保護地区に指定され中断されているアッツ島の遺骨収集再開に向け、米国側との協議を厚労省に要望した。

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業が、実施30年を迎えたことを記念し、同事業実施三十周年記念誌を発刊し、300冊限定で頒布している。

同記念誌は、戦没者遺児の積年の願いであった「父への慰霊」と現地で「友好親善」を記録し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぎ、世界の恒久平和に寄与する「思いを広く次世代へ語り継ぐ内容」となっている。

硫黄島遺骨収集派遣

遺骨29柱を送還

日本戦没者遺骨収集推進協会により、11月19日から12月6日の18日間に、3次派遣が実施され、本会から3人が参加協力した。

派遣団は、硫黄島に2日前から抗原検査キットにより全員の陰性を確認してから、21日に硫黄島に入島し、22日から収容作業に入った。

派遣団は、八幡岸付近、南部落付近を中心に遺骨の収容にあたり、団員は壕内及び地表にある遺骨を細心の注意を払い発見に努め、29柱を収容し、12月5日無事硫黄島から帰還した。

翌6日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で遺骨引渡式が挙行され、出迎えた遺族代表、国会議員、関係団体代表等が見守る中、派遣団から厚生労働省職員へ遺骨が引き渡された。



地表遺骨の収容作業を行う派遣団員ら＝硫黄島南部落付近で

パラオで遺骨収集実施

採取検体を送還

日本戦没者遺骨収集推進協会により11月28日から12月13日の16日間にかけてパラオ諸島戦没者遺骨収集派遣が実施され、本会から2人が参加協力した。

派遣団はペリリュー島、アンガウル島を2班に分かれて遺骨収集を行った。ペリリュー島では富山地域で4柱、中ノ台地域

で1柱の推定5柱の遺骨を収容した。また、前回の現地調査で初めて実施したハワイトビーチに埋まっている日本軍戦車2両で少量の遺骨が見つかったため、今後調査を継続する。

アンガウル島は米国公文書館の資料調査に基づき「サイパン日本人墓地」で推定6柱の遺骨を収容した。派遣団は今回収容した遺骨11柱はペリリュー島コミュニティヘルセン

ター等信頼のおける一時保管場所に安置し、パラオ共和国政府から持出しの許可が下りた過去に収容し、保管していた遺骨74柱相当の検体を送還し、厚生労働省に引き渡した。

11月13日から28日の16日間にかけて実施され、本会から2人が参加協力した。島の現地調査派遣が11月から12月にかけて実施され、本会は2地域に計3人が参加協力した。

コロナ禍で中断され3年ぶりに再開したインド現地調査派遣の第2次は、

現地調査を実施

インド、ビスマーク諸島で

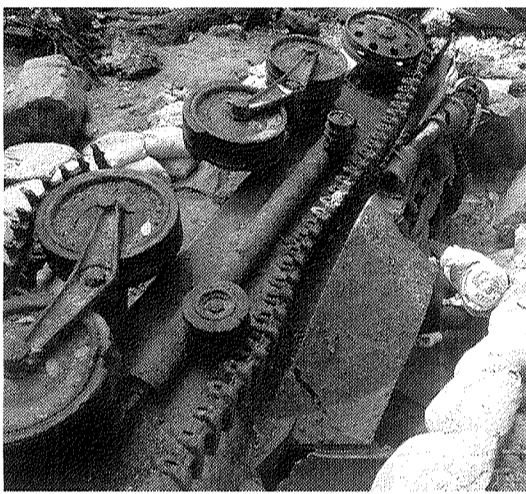
日本戦没者遺骨収集推進協会による海外2地域（インド、ビスマーク諸島）の現地調査派遣が11月から12月にかけて実施され、本会は2地域に計3人が参加協力した。

11月13日から28日の16日間にかけて実施され、本会から2人が参加協力した。島の現地調査派遣が11月から12月にかけて実施され、本会は2地域に計3人が参加協力した。

ビスマーク諸島、カングラトンビ、ポッサンバムを含むインパール周辺及びナガランド州コヒマ周辺を調査した。

派遣団は、西ニューブリテン州ホスキンスの同州博物館及びブーゲンビ

ル自治州ソファンノ島政府健康局に仮安置されている遺骨の保管状況等の調査及び各州・自治州政府



埋まっている日本軍戦車で遺骨を収容＝パラオ諸島ペリリュー島ホワイトビーチで



現地住民の協力を得て遺骨を収容＝インドマニプル州ケンジャン村付近で

慰霊友好親善事業

実施三十周年記念誌頒布

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業が、実施30年を迎えたことを記念し、同事業実施三十周年記念誌を発刊し、300冊限定で頒布している。

同記念誌は、戦没者遺児の積年の願いであった「父への慰霊」と現地で「友好親善」を記録し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぎ、世界の恒久平和に寄与する「思いを広く次世代へ語り継ぐ内容」となっている。

本会への賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申しあげます。

佐藤文男、的場武浩、山本茂昭、宮田喜美子、正木敏順、安田由紀夫、青木忠昭、ハダシノシヅカ、カイ、オオツボマナブ、フジムラヨシヤス（以上、12月1日から12月末日まで）

皆様がいただいた賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。

日本遺族会への賛助金のお礼

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

郵便振替 00130021694929

みずほ銀行 九段支店 普通預金 09809030

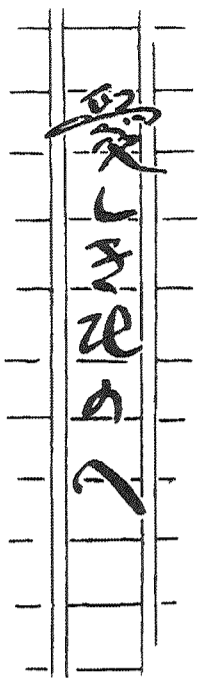
※口座名は「一般財団法人日本遺族会」にて「二ホニシツカイ」

要 戦後80年に向けた組織継承 概 3カ年計画・青年部育成策

遺族会組織の喫緊にして最大の懸案である組織継承に対する具体策として、「戦後80年に向けた遺族会組織継承3カ年計画」と青年部育成・拡大の具体策が常務理事会で提案された。承継されたことは前号で一報した通りである。組織の中核である遺児の高齢化が著しい現在、まさに組織の存続をかけた大規模計画について、今号では概要を伝える。

○戦後80年に向けた組織継承3カ年計画
今後、援護予算の拡充が予測される戦後80年に向けて、①特別弔慰金の

②平和の語り部事業創設



故郷の妻へ

陸軍歩兵上等兵 加藤 乙壽
昭和十四年十二月十四日
中華民国湖北省にて戦死
福島県耶麻郡野村出身二十七歳

拝啓 悠美子は丈夫ですか。お母様始め皆様元気ですか。お国の寒はどうです。此方は、とても暖かです。今日も花が咲くかと想はれる暖かさです。毎日、小春日和が続きます。これ以上は寒くないさうです。お国は雪が沢山降りましたか。旧のお正月も程なく来るでせう。自分が留守でも良い正月を迎える様、遠い異郷の空より祈って居ります。此の間、東北三県の慰問団が参りました。渡支以来初めての事として、大変懐かしく宮城・福島・新潟と、民謡・音楽舞踊・万歳と時間の過ぎ行くのも忘れて楽しく懐かしく、銃後の皆様の赤誠に感激つかまつりました。(中略)自分は少しも国の為に盡さぬのに、慰問を受けたら慰問袋をもらつたりして勿体なく感じます。お前も益々元気で身体に気を付けて、家の事はしつかりやつてくれ。ここへ来て勤務ぶりを見てもらふと思つて写真を撮りました。緊張した顔、皆様に見せてくれ。お父様にも宜しく言つてくれ。さやうなら。

きよの様

※文中の「渡支」は、支那(中華民国)に渡るの意

【令和五年一月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ

長年議論となつて支給要件等について意見を交わし、その意義について見詰めなおす。

戦後77年が経過し、国民の9割が戦後生まれの今日、戦争の風化を防ぐため、体験者の記憶を継承することが大変重要と

求められる語り部とは何か議論を深める。その結果を踏まえ、広報担当より全国で実施するための統一の育成書目安となるモデル授業を提案し、国の事業との違いと遺族会が実施することの意義を示し、事業化のための予算を要請する。(次号へ続く)

昭和館 特別企画展を開催 期間中両県で3千余人来場

昭和館が毎年各地で実施している巡回特別企画展が、神奈川県と沖縄県で開催された。

昭和館の「くらしにみる昭和の時代 神奈川展」では、戦争がもたらした苦難や昭和の人々のくらしぶりを伝える実物資料や写真等、約50点が展示された。そのほか神奈川県に關するニュース映画や、戦中・戦後の体験を語った証言映像等が上映された。

の遺族会をはじめ、県外からの観光客等も来場し、来場者は2152人にのぼった。会場では、沖縄

奈川県の展覧会は東京にある国立施設の昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館の三館連

沖縄県での展覧会「くらしにみる昭和の時代 沖縄展」は42回目の開催となった。会期中、県内

展示資料を見学する来場者＝那覇市民ギャラリーで



展示資料を見学する来場者＝那覇市民ギャラリーで

現在、遺児を中心に自身の体験を披露し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学んでもらう「平和の語り部」活動が、全国各地で主に小学校で行われている。この活動は、遺族会に課せられた社会的責務と合致するため、今後全国的に展開させるべく、事業化を目指し、国に予算を要請する。

支援金を募る方途を検討 OBONツサエティ

日本遺族会が厚生労働省から委託を受け実施している「戦没者等の遺留品返還に伴う調査」事業では、アメリカのNPO法人OBONツサエティと業務提携している。

本会は平成25年から同団体の活動に賛同し、協力しており、平成30年度より国の委託事業を受け、令和元年度から同団体と再委託契約を結び、これ

までの遺品の返還数は400件にのぼる。しかし、昨年11月に水落敏栄本会会長が渡米し、同団体と協議した際、米国内の物価高騰や、急激な円安による本会からの再委託費が大幅に目減りすることにより同団体の財政が非常に逼迫し、運営自体が困難な状況にあることが判明した。

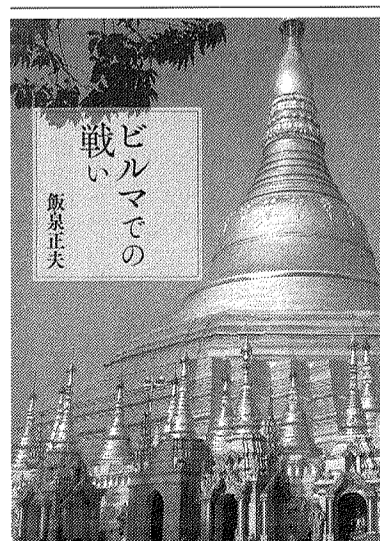
こうした状況を憂慮した水落会長は、本会で、OBONツサエティへ支援金を募る方途を検討するよう指示した。遺族へ戦没者の遺品を返還する活動を続ける同団体への協力をお願いしたい。詳細決まり次第本紙で告知

祭に参加し、実際に兄と行動を共にしていた人から話を聞くなどして、当時野戦病院があった場所が判明し、現地に慰霊にも訪れている。この本は、飯泉さんが20年以上にわたり50人以上の生存者や遺族から聞き取り調査し、インパール作戦の惨状を伝えるた

本だま

「ビルマでの戦い」
ビルマのインパール作戦で兄を失くした下妻市遺族会会長の飯泉正夫さんが、兄の所属部隊を中心に同作戦について纏めた「ビルマでの戦い」を出版した。

飯泉さんの兄・英夫さんは、昭和19年5月に作戦中に負傷し、野戦病院に運ばれたが、10月3日、モライイク県の第33師団防疫給水部シーン患者集合所で亡くなっている。飯泉さんは兄が無謀な作戦で何故死ななければならなかったのかを知るために戦友会の会合や慰霊



ビルマでの戦い 飯泉正夫

年記念式典並びに令和4年度岡山県戦没者遺族代表者大会(350人)

令和4年度高知県遺族会遺族大会(50人)

地方だより
各支部遺族会で、実施された大会等は次の通り。

- ▼京都府 10月10日 令和4年度京都府戦没者遺族大会(329人)
- ▼岩手県 11月2日 第66回岩手県戦没者大会(400人)
- ▼島根県 11月8日 令和4年度沖縄・島根の塔「追悼式」(27人)

▼石川県 11月10日 創立75周年事業石川県沖縄戦没者慰霊式(40人)- ▼徳島県 11月12日 第76回語り部事業(45人)
- ▼佐賀県・長崎県 11月17日 合同の事務局長・職員研修会(4人)
- ▼滋賀県 11月20日 青年部研修会(16人)
- ▼岡山県 11月26日 岡山県遺族連盟創立75周年記念式典並びに令和4年度岡山県戦没者遺族代表者大会(350人)
- ▼高知県 12月4日 令和4年度高知県遺族会遺族大会(50人)

「九段短歌」
休載のお知らせ
九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載とさせていただきます。